

明智地域自治区

【キャッチフレーズ】

活気あふれる 笑顔あふれるまち

～大正ロマン、戦国ロマン香るノスタルジア～

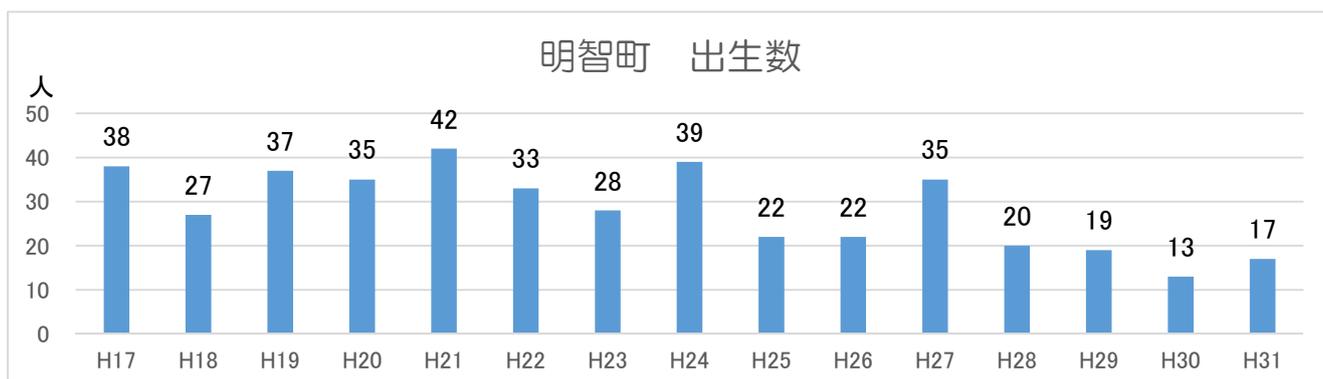
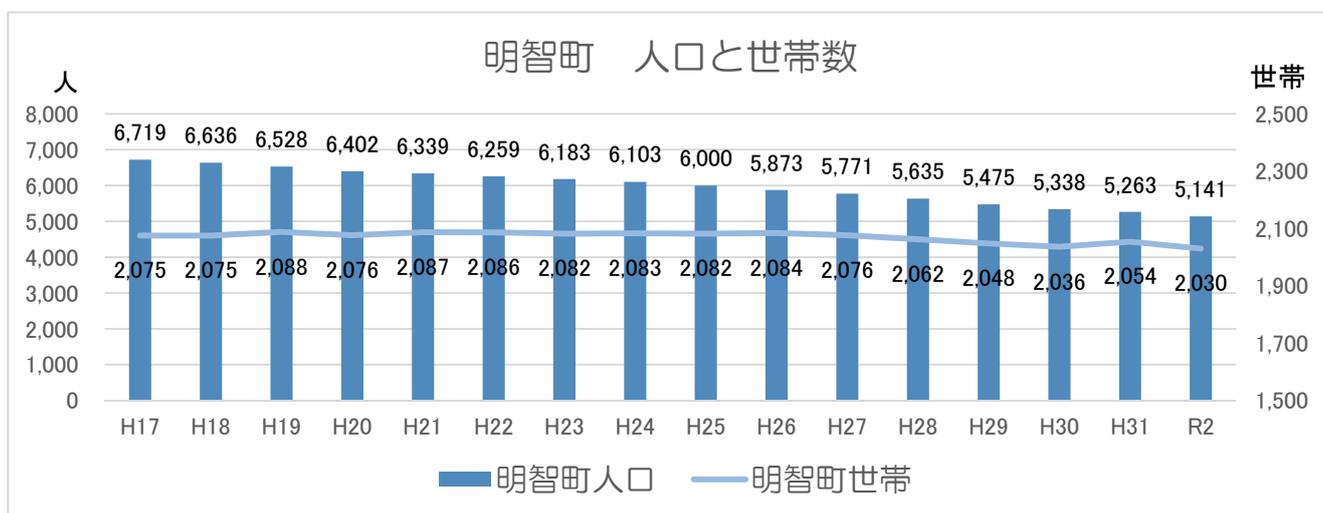
【現状と課題】

明智町は、恵那市の南端に位置しており、愛知県豊田市と隣接し、周囲を山で囲まれた、面積約67平方キロメートル、市街地の中心を明智川が流れ、緑豊かな自然に囲まれた、窯業を中心に発展した地域です。

昭和59年に立村した「日本大正村」は、ボランティアによるまちづくりが注目され、人情味あふれる大正ロマンのまちとして多くの来訪者を集めています。この他にも、明智の森、下ヶ淵、城山、団子杉等豊かな緑に囲まれ四季の移り変わりの美しさを楽しめるもののほか、大正村役場、資料館、ロマン館、明智光秀公産湯の井戸、遠山家の墓、八王子神社等歴史や文化を感じさせるものも多く存在しています。

明智町の人口は平成17年4月には6,719人でしたが、令和2年4月には5,141人で、市全体と比較して減少が顕著になっています。また、日本大正村を中心とした観光地として平成10年には約48万人の来訪者がありましたが、令和2年には約26万人まで減少し、ボランティアに頼ったまちづくりは限界がきています。この著しい減少により、町の賑わいが感じられず、以前の様な活気が失われつつあります。また、出生数も減少の一途をたどり、学校の存続をはじめ、空き家や耕作放棄地の増加などの課題が表れています。

今後は、人口減少対策を最重要課題として、当町のまちづくりの中心でもある日本大正村の立村当時を振り返り、町民一丸となったまちづくりの取り組みが必要となっています。

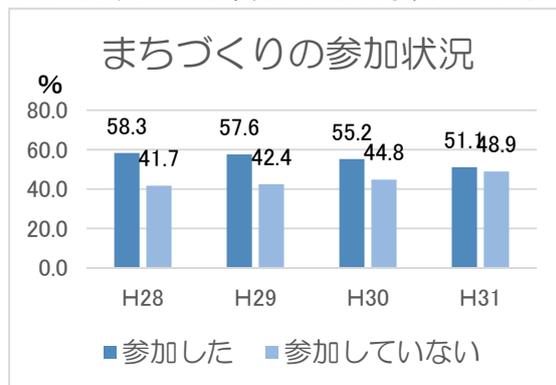
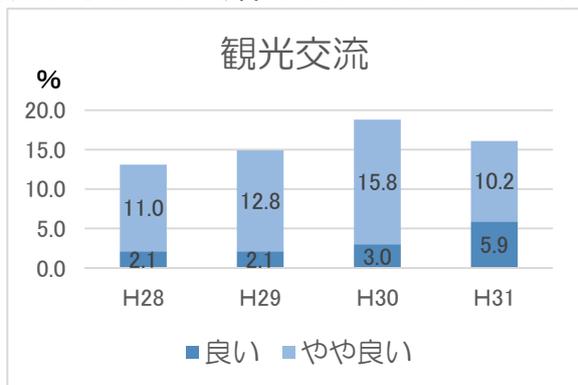


【グラフ：住民基本台帳 人口と世帯＝各年4月1日現在 出生数＝各年度】

明智町は、平成 28 年度から地域計画に沿ってまちづくりを推進してきました。前期 4 年間の取組について、市民意識調査の結果（地域区分：岩村・山岡・明智）も踏まえ、4つの目標ごとに検証します。

1. 賑わいと活気のあるまち

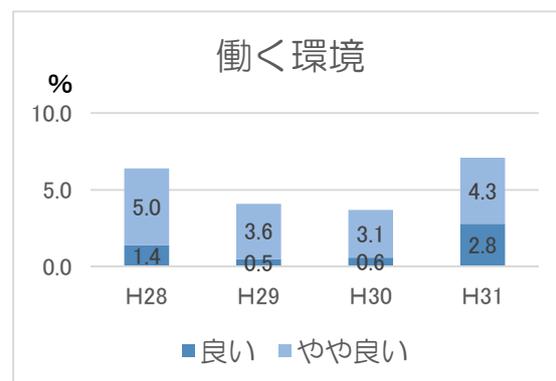
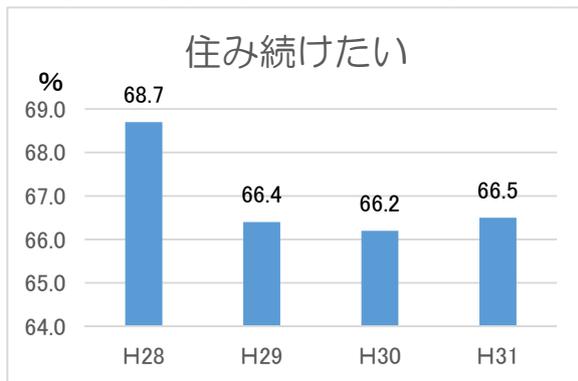
日本大正村などの観光資源を活かして明智町の魅力を発信し、地域住民と訪れる観光客との交流促進に取り組んできましたが、町民全体への盛り上がり浸透せず、新たな魅力資源を発掘するなど、明智町民が一丸となって、さらなる賑わいを創出する必要があります。



【グラフ：恵那市市民意識調査 地域区分：岩村・山岡・明智の各年度回答結果】

2. 安心していつまでも住み続けられるまち

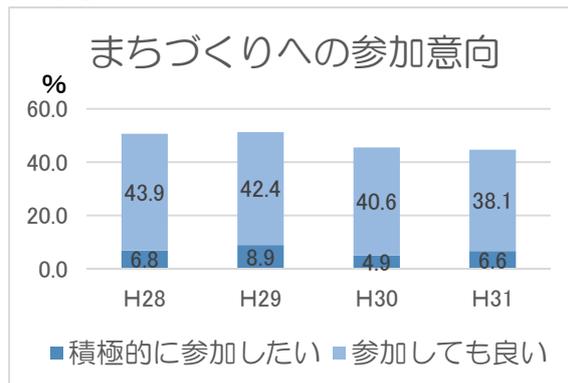
子育てをしながら働ける環境を整え、住み続けたいくなるようなまちづくりを進めていますが、出生数は減少傾向にあり、まちの継続性が懸念されます。防犯・防災・交通安全なども含め、安心・安全なまちづくりを進める必要があります。



【グラフ：恵那市市民意識調査 地域区分：岩村・山岡・明智の各年度回答結果】

3. 若者を中心とした地域力の向上

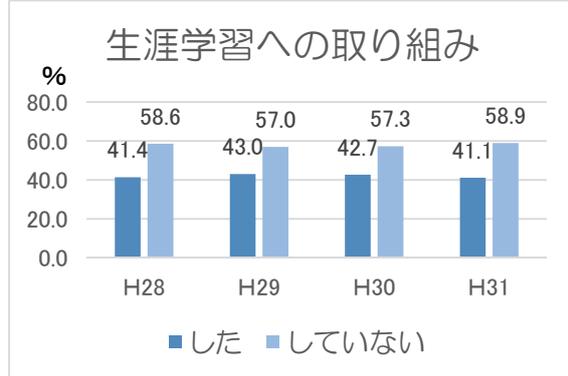
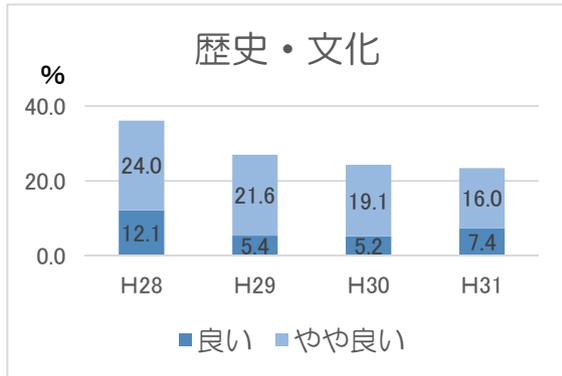
子育て支援を地域ぐるみで実施しながら、若者がまちづくり活動に積極的に参加できるような環境整備を行ってきましたが、機会がまだまだ限定的であり、引き続き、若い世代の発想による活気あるまちづくりを進める必要があります。



【グラフ：恵那市市民意識調査 地域区分：岩村・山岡・明智の各年度回答結果】

4. 郷土の魅力と誇りを次世代へ

明智町独自の文化や歴史を深く掘り下げ、次世代へつないでいくよう学びの機会を設けてきましたが、モチベーションを継続していくよう、地域と学校とのつながりを発展させながら、町内外への情報発信により、持続可能なまちづくりを進める必要があります。



【グラフ：恵那市市民意識調査 地域区分：岩村・山岡・明智の各年度回答結果】

【目指すべき地域の姿】

人が集まり交流するまちは、活気があり、笑顔のあふれるまちです。それは、訪ねてみたいまちであるとともに、住み続けたいまちでもあり、地域住民も来訪者も好きなまちと言えます。かつての賑わいを取り戻すために、人口減少対策に空き家を活用して積極的に取り組み、日本大正村と明智光秀ゆかりの地を中心とした観光のまちとして、地域住民が一丸となってまちの活性化を目指します。

また、若い世代が安心していつまでも住み続けられるよう、子育て環境の充実を図り、若者が活躍するまちを目指します。そして先人が築き上げてきた、郷土の魅力と誇りを大切に次世代へ引き継いでいきます。

そのためには、町民一人一人がまちに関心を持ち、多くの町民がまちづくりに参画することが必要です。それはまさしく、日本大正村を立村した当時の住民主導のまちづくりにも結びつきます。これまでの検証を踏まえ、今一度原点に立ち戻り、行事や組織のあり方を再構築しながら、地域住民一丸となった持続可能なまちづくり活動を行っていきます。地域への愛着、ふるさとを慈しむ心を育て、10年後、今以上に活気あふれる笑顔あふれるまちの実現を目指します。

計画の視点として、2015年の国連サミットにおいて、全会一致で採択されたSDGs（持続可能な開発目標）の考え方を本計画に取り入れます。

社会・経済・環境の要素を同時に進め、「誰一人取り残さない」理念のもと、持続可能なまち明智を目指します。



※SDGsとは（内閣府ホームページから）

持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指し17のゴール・169のターゲットから構成され国際目標です。地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。

持続可能なまちづくりや地域活性化に向けて取組を推進するにあたっては、SDGsの理念に沿って進めることにより、地域課題解決の加速化という相乗効果が期待でき、地方創生の取組の一層の充実・深化につなげることができます。

【計画の柱（基本目標）】

1. 賑わいと活気のあるまち

人が集う賑わいのあるまちにするために、まちの中心地域や周辺地域のそれぞれの特色を活かした「空き家、空き地の利活用」、「イベントの展開」について検討します。

また、町内各種団体の連携を強化し、地域住民と観光客の交流促進を図り、日本大正村にかつての賑わいと活気を取り戻します。



2. 安心していつまでも住み続けられるまち

若い世代が地元に住み続けられるよう、子育て環境の充実を図り、育児と仕事の両立できる環境を整えます。

また、犯罪や交通事故のない子どもからお年寄りまで安心して暮らせるまちをつくりまします。



3. 若者を中心とした地域力の向上

若者がまちづくり活動に積極的に参加するための働きかけと環境整備を行います。

また、自治連合会を中心に地域コミュニティの強化を図り、地域のつながりや助け合いを大切にします。



4. 郷土の魅力と誇りを次世代へ

地域の文化、歴史、伝統芸能などを学び、次世代へ郷土の魅力と誇りを伝えて行きます。

また、豊かな自然環境の保全と活用する取り組みを行います。



【基本施策】

1. 賑わいと活気のあるまち

(1) 最後のチャンス「人口減少対策」

空き家、空き地の活用方法について、組織をつくり検討を行います。

日本大正村に訪れる観光客に明智の魅力を紹介し、市外からの移住者の受け入れを促します。また、農泊や農業体験、カフェなどへの空き家の活用や担い手の発掘について積極的に取り組みます。



(2) 団体やイベントの相互連携によるまちの賑わいと活気

イベントを単体で行うのではなく、各種団体間の連携を図りながら今まで引き継がれたまちのお祭りやイベントを今後も存続して行うことにより、地域住民同士や観光客との交流による賑わいと活気を創出します。



(3) 日本大正村の活性化

日本大正村にかつての賑わいと活気を取り戻すために、特定の住民のみではなく、子供からお年寄りまですべての住民が大正村事業の推進と取り組みを行います。

また、大正村活動や大正村事業について、自治連合会や自治会、地域協議会を通して、住民への情報提供や情報発信を行い、地域への日本大正村への理解と協力をさらに進めるよう努めます。



(4) 「明智光秀ゆかりの地」の活用

「明智光秀ゆかりの地」を全国に情報発信し、明智町や日本大正村の知名度の向上と地域住民が郷土への愛着や誇りをさらに高められるようまちづくり活動に生かしていきます。日本大正村と観光協会明智支部のさらなる連携強化、情報共有を進め観光事業の推進を強化します。



(5) まちの交流の場所・大正村広場や里山・田園の利活用

大正村広場や大正村浪漫亭、まちの豊かな自然、里山・田園を活用したイベントの実施、地元特産品の提供などを行い、さらに地域への情報提供や地域の協力、まちの人たちの交流を町全体で進め、明智全体の活性化を進めます。



(6) 地域の重要な交通機関・明知鉄道の利用向上

恵那市内の重要な交通手段として、町民全体で明知鉄道への支援や協力、鉄道イベントや行事への参加意識を高め、鉄道の存続への意識向上を図ります。また、SLが新たなまちの魅力となるよう観光振興の推進について支援します。



2. 安心していつまでも住み続けられるまち

(1) 子育て世代を応援するまち

安心して子どもを産み育てるための支援を地域ぐるみで実施します。子育てをしながら働いたり、まちづくりにも参加できる環境を整え、将来にわたり子どもの声が響き渡るまちを目指します。



(2) 女性の働く場の確保、働きやすい職場作り

子育てをしながら働けるよう、子どもを安心して預けられる場を確保するとともに、就労の確保、働きやすい職場環境作りの協力を企業へお願いし、育児と仕事を両立できる環境を整えます。



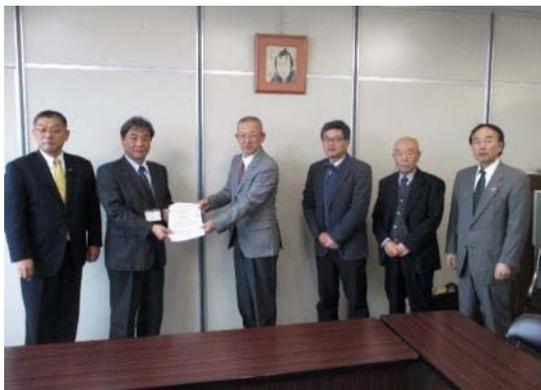
(3) 防犯、防災活動と意識向上

犯罪、交通事故のない、子どもからお年寄りまで安心して暮らせるまちをつくります。自主防災隊を中心に自然災害に備えた防災意識の高揚と地域での共助の取り組みを推進します。



(4) 地域の安全・安心な交通の確保

明智町内の交通網について、市や県、地域住民が一体となり安全・安心に移動できるよう安全確保し、恵那市中心部、瑞浪市方面、豊田市方面、リニア中央新幹線岐阜県駅などの方面への主要道路整備が促進されるよう、市や県への情報提供や要望活動を継続します。



3. 若者を中心とした地域力の向上

(1) 若者が活躍できるまち

若い世代の発想、ネットワークなどを活かし、多文化共生も含めた新しい風を入れながらまちづくりをしていきます。良き伝統文化、地域のつながりを大切に、老若男女世代を超えた交流ができるイベントを行い、元気あるまちづくりを目指します。



(2) 地域力の強化と地域イベントの存続

自治連合会を中心に地域コミュニティの強化を図り、地域のお祭りや交流イベントによる地域の人と人とのつながりや助け合いを大切にします。



4. 郷土の魅力と誇りを次世代へ

(1) 郷土に学ぶ

明智の文化、歴史、伝統芸能（歌舞伎、太鼓など）、日本大正村、明智光秀公、山本芳翠画伯などを学校の授業や市民講座、地域の集まりなどで大人も子どもも学び、誇り、自慢、自信、愛着が持てるようにします。また、次世代へ郷土の魅力と誇りを伝えていく人となることを目指します。



(2) 豊かな自然環境の保全と活用

明智の森など自然を活かした体験型の観光にも力を入れ、大人も子どもも楽しめる自然観光地づくりを目指します。

また、明智の特色ある自然（桜、かえて、ひとつばたご等）を情報発信していきます。



(3) 情報発信の充実

町民一人一人が明智町の魅力や誇りを感じ、市外への積極的な情報発信を行い、観光客や移住定住の増加を目指します。ホームページやSNSを活用した明智の情報発信をさらに進めます。

また、地域行事、イベント開催、各組織の取組状況など、地域住民へ情報を発信し、今の状況などを知ってもらうとともに、地域行事やイベントへの参加を呼びかけます。



(4) 明智の子ども・地域の子どもたちへの継承

明智の子どもたちがまちの歴史や郷土、自然文化に親しみ、明智への愛着や誇りを持ち、将来の定住へと進められるよう、明智小学校、明智中学校、恵那南高校でのコミュニティスクール活動に地域が協力できるよう町全体で進めます。



【地域間連携での取り組み】

(1) 広域観光による地域活性化（観光）

共通パンフレット・観光周遊コースの作成、イベント共催など広域で行うことにより魅力アップにつなげ観光客・交流人口の増加を目指します。

連携地域	計画の柱（基本目標）及び施策の項目
岩村町	訪れたいまち 新しい観光資源の活用・リピーター対策
山岡町	山岡の「よいところ」を活かすまち 山岡の特色を活かして交流人口の増加推進
明智町	賑わいと活気のあるまち 団体やイベントの相互連携による賑わいと活気
串原	今ある自然を資源として活かそう 既存施設の充実と見直し
上矢作町	豊かな自然と人々の交流で輝く上矢作 観光施設の充実による賑わいのあるまち

(2) 文化や人材の交流による人材育成確保（文化）

恵南地域間における文化交流、人材交流等を深め、互いの地域の魅力を高め合うと同時に、伝統文化の保存伝承と後継者育成に努めます。

連携地域	計画の柱（基本目標）及び施策の項目
岩村町	訪れたいまち 人材確保（育成）
山岡町	山岡の「よいところ」を活かすまち 山岡の特色を活かして交流人口の増加推進
明智町	郷土の魅力と誇りを次世代へ 郷土に学ぶ
串原	響け！伝統文化と学びで繋がる串原 人材育成と活用
上矢作町	知恵と、技、喜びをつなげるふるさと上矢作 人をつなぎ、ふるさとへの愛着を育む活動

(3) 恵南地域の若者達的能力活用と支援

若い力を活用した地域づくりを、恵南地域の若者達による話し合う機会を経て進め、事業の実践に繋がられるよう支援していきます。

連携地域	計画の柱（基本目標）及び施策の項目
岩村町	訪れたいまち 人材確保（育成）
山岡町	多くの町民が参画する活力あるまち 新たな仕組みづくり・雰囲気づくり
明智町	若者を中心とした地域力の向上 若者が活躍できるまち
串原	世代交代と耐える力 次世代リーダーの育成
上矢作町	知恵と、技、喜びをつなげるふるさと上矢作 人をつなぎ、ふるさとへの愛着を育む活動

(4) 高齢化社会に対応した、交通弱者対策などの地域福祉力の向上（福祉）

公共交通機関の利用が困難な方の、通院や買物のための移動手段確保などによる日常生活支援や、近くで買い物できる移動販売車などの運営を通して、地域福祉力の向上を図ります。

連携地域	計画の柱（基本目標）及び施策の項目
岩村町	住み続けたいまち 交通手段の確保
山岡町	安全で安心して暮らせるまち 地域が家族になる「あんじゃない」のまち
明智町	安心していつまでも住み続けられるまち 地域の安全・安心な交通の確保
串原	世代交代と耐える力 住民同士の支え合い
上矢作町	いつでも、いつまでも誰もが安心ほっとするまち 安心して快適なまちづくり